

平成24年度今泉地区・高田地区整地工事安全祈願祭

陸前高田市建設部都市計画課

県内初のCM（コンストラクション・マネジメント）方式による陸前高田市今泉地区・高田地区整地工事の安全祈願祭が、昨年12月25日（火）、同市高田町字下和野地内で行われました。

この工事は、被災市街地復興土地区画整理事業に伴う試験盛土事業として市から業務委託を受けたUR（都市再生機構）が、清水JV（清水・西松・青木あすなろ・オリエンタルコンサルタンツ・国際航業陸前高田市震災復興事業共同企業体）に発注したもので、同地にはURが市営の下和野地区災害公営住宅を建設します。

安全祈願祭は、陸前高田市・戸羽市長、陸前高田市議会・伊藤議長、県沿岸広域振興局大船渡土木センター・高橋所長、UR・小山震災復興推進役、清水JV・井出執行役員ら関係者約50人が出席し行われました。神事後のあいさつで戸羽市長は、「復興元年の締めくくりとして嬉しい限り。関係者の英知を結集してすばらしい事業にしていきたい」と述べました。

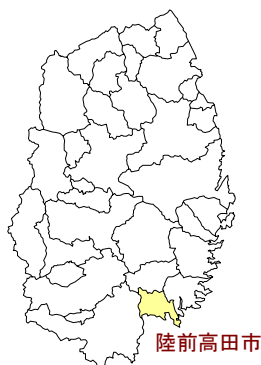
同工事は、被災した建物の基礎の撤去等を行い、1月31日から本格的な盛土工事に着手します。

市では、昨年9月26日に知事から高田地区及び今泉地区の先行地区の土地区画整理事業認可を受け、同日、URとの間で復興整備事業の業務委託契約を締結し、URがCM方式による発注手続きを進めてきました。

URのCM活用による設計施工一括発注方式は、東日本大震災の復興事業のスピードアップを図るため導入されたもので、宮城県東松島市と女川町が先行して導入しています。市では、昨年8月の公募開始から書類選考、プレゼンテーション等を経て、12月初旬に応募があった4グループの中から清水JVをCMR（コンストラクションマネージャー）に決定しました。

CMRの選考に当たっては、専門業者（CMRから各工事を受注する業者）として地元企業を活用することや、オープンブック方式により契約の透明性を確保することなどが勘案されました。

試験盛土は同地のほか高田町内の2カ所で予定されており、同地では3月までに盛土を終え、引き続き、災害公営住宅の建設準備に入ります。下和野地区災害公営住宅は鉄筋コンクリート5～7階建てで120戸を予定し、平成26年9月の完成を目指しています。



位置図



あいさつする戸羽陸前高田市長

【用語解説】 出典：国土交通省ホームページ

CM(コンストラクション・マネジメント)方式とは・・・

建設生産・管理システムであり、CMR（コンストラクションマネージャー）が、技術的な中立性を保ちつつ発注者の側に立って、設計・発注・施工の各段階において、設計の検討や工事発注方式の検討、工程管理、品質管理、コスト管理などの各種のマネジメント業務の全部または一部を行うものです。

オープンブック方式とは・・・

工事費用を施工者に支払う過程において、支払い金額とその対価の公正さを明らかにするため、施工者が発注者に全てのコストに関する情報を開示し、発注者又は第三者が監査を行う方式をいいます。